

ドイツ連邦食糧・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
2019・12・2
NO 33

1 連邦食糧・農業省：2020年度の記録的な財政を議決

(2019・11・26)

連邦食糧・農業大臣クレックナー：我々は研究、革新そして計画の確実性に投資する。連邦議会は今日（11月26日）連邦食糧・農業省の財政を議決した。67億ユーロ（約8040億円）強の財政額で、約40000ユーロ（約480億円）増額された。これまでの最高額となる財政である。クレックナーは、この記録的な財政額を強調した。一方では、農業のための展望と計画の確実性、他方では農林業における気象保護と持続性をさらに強化する。

経済的に耐え得るための将来の道、並びに社会的に受容される農業が重要である。クレックナー：“我々の領域において記録的な財政の更新を審議し、そして可決された。これは大きな成果である。財政の新たな増額は、農業一食料業の大きな意義を明確にしている。つまり、大きな価値の創造、我々の農家家族の報酬を得ることである。これは何かある分野でなく、出発点である。この金額は必要である。高齢者の病気、事故に際して農業者の保護のために。農業の社会保障のために、41億ユーロ（約4920億円）が準備されている。

そしてさらなる発展並びに重要な方向転換のために、必要な政策を可能にする。例えば、農場におけるデジタル精密農業の定着化である。なぜならば、我々は分岐点を体験している。伝統から近代への移行において、環境―気象―動物保護への消費者の期待に際しての分岐点である。我々はここに各分野を支援し、それに対する補足的な要求に沿っていく。2023年までの連邦政府の一連の気象政策から補完的な財源が、10億ユーロ（約1200億円）充当されている。

我々は森林維持―改善において、5億ユーロ（約600億円）以上の投資をしている。昆虫保護のテーマについて、効率的な課題解決をもたらさねばならない”と、クレックナーが続けた。これは農業の意味においてもである。

同じく現在ドイツと EU-委員会との間で調整しているところの、肥料規則の改訂に際しても有効である。連邦農業省は、肥料の課題における新しい社会的要請の実施に際して、農業を 2022 年までに 7 000 万ユーロ（約 84 億円）でもって、積極的に支援する。さらに「2030 気象保護プログラム」において、農業気象政策のために財政支援を計画している。例えば、農場産肥料（堆肥など）のエネルギー上の利用、またはチッソ過剰の削減について、2023 年までに 19500 万ユーロ（約 234 億円）。

連邦省は 2020 年財政でもって、さらに農村地域を強化する。GAK（EU 共通農業政策）における特別枠プラン「農村の発展」は、2020 年に 15 万ユーロ（約 180 億円）から 20 万ユーロ（約 240 億円）に強化される。連邦プログラム農村の発展は、7 270 万ユーロ（約 87 億 2 400 万円）に増額された。この資金でもって、2つの重点を設定した。ボランティアとデジタル化でもって、農村地域における住民の日常生活を改善する。

健全な食料の分野において、連邦省の中心的なプロジェクトの実行

- ◎ Nutriscore（訳注・ヌートリスコア 色で表示した栄養ラベル）についての決定、法の設定が実行されそして 2020 年の財政に支援される。
- ◎ 国民の減少一革新戦略について、新しい具体的な目標合意が存在している。
- ◎ 高齢者の適切な栄養のために研究の隙間を埋める一特に栄養と認知症並びに糖尿病との間の関連について
- ◎ 各州はネットワークセンターの設立に際して、財政的に支援される。高齢者のための栄養をアドバイスする情報案内所もまた。

連邦財政の中心点

農業者の社会福祉上の安全

41 億ユーロ（約 4 920 億円）が農業社会福祉を確保

農業のための補完的な財政

来る 3 カ年において、計 7 000 万ユーロ（約 84 億円）を補完的に見積もっている。GAK は 2020 年から 2022 年までに、毎年約 1 600 万ユーロ（約 19 億 2 000 万円）増額している。

畑作戦略のための財政は、毎年 750 万ユーロ（約 9 億円）増額している。

これでもって農業者は肥料法の改正に適応し、そして影響を緩和する。そして肥料成分量の改善に際して、支援される。

昆虫保護に際しての支援

- ◎ GAK における特別枠プラン” 昆虫保護” は、毎年 5 000 万ユーロ（約 60 億 円）、各州の財政拠出とともに 8 300 万ユーロ（約 99 億 6000 万円）を充当する。
- ◎ 気象保護は中心的テーマである。総額で 12 億 6 000 万ユーロ（約 1 512 億円）を充当する。
- ◎ 森林保護のために約 3 億 800 万ユーロ（約 38 億 6 000 万円）、森林改造のために 1 億 6 000 万ユーロ（約 192 億円）が充当される。
- ◎ 森林基金の活動は継続される：2020 年から 2023 年までに、研究と新しい政策の検証のために 10 000 ユーロ（約 120 億円）
- ◎ さらに補完財源から再生可能な原料の分野においても、木材加工奨励のために充当される。

連邦農業省の投資

- ◎ 湿地の保護
- ◎ 泥炭土の使用減少（2021 年から 2023 年に 16 800 万ユーロ 約 201 億円）
- ◎ 腐植の増強
- ◎ 家畜の福祉
- ◎ 農業と園芸におけるより多くのエネルギー効率性（この分野におけるエネルギー効率性のための連邦プログラムは、2020 年に 4 460 万ユーロ 約 53 億 5 200 万円を計画）
- ◎ 連邦プログラム有機農業は 2 890 万ユーロ（約 34 億 6 800 万円）で継続される。

2019 年におけるデジタル化政策の拡大のために1500万ユーロ（約18億円）から2020年には2200万ユーロ（約26億4000万円）

- ◎ 農業経営におけるデジタル化の実験分野では、5 000 万ユーロ（約 60 億円）でもって奨励される。

漁業者の困難な状況を支援

- ◎ 漁業船団の適応のための財源は 400 万ユーロ（約 4 億 8 000 万円）から 5 620 万ユーロ（約 7 億 4 400 万円）に増額した。

農村地域の強化

- ◎ GAK における農村発展の特別枠プランは、2020 年に 15 000 万ユーロ（約

240 億円) から 20 000 万ユーロ (約 240 億円) に強化した。

- ◎ 農村発展の連邦プログラムは、7 270 億ユーロ (約 87 億 2 400 万円) に増額した。これは特にボランティアとデジタル化の分野におけるプロジェクト奨励のためである。

(2019年11月26日のドイツ連邦議会演説録音)

2 ボランティア活動のモデル地区に 18 の郡を選定 —魅力的な活動と専任の体制強化— (2019・11・27)

専任のボランティア (訳注参照) を強化 —連邦大臣クレックナーは、18 の郡に連携プロジェクトをスタートさせた。クレックナー大臣は、農村地域のために今日、プロジェクト”専任ボランティアを強化”のための、スタート号砲を發した。これはドイツ全国郡連絡協議会との共同計画である。プロジェクトの領域において、モデル的に試行される。

ボランティアとの連携強化のために、郡レベルで有望なそして持続的な構造を構築し、そして改善することができる。例えば、ボランティアの専任的な構造の組み立てによって、責任を喚起し法—財政問題の克服が重要である。選定された郡は”連邦プログラム農村の発展”から、3年間で 150 000 ユーロ (約 1 800 万円) を受け取ることができる。

このプロジェクトから得られた経験と知識から、「実践一手引き」を作成する。ボランティア強化の専任構造の強化または構築によって、他の郡を支援する。クレックナー大臣は、ドイツ全国郡連絡協議会の会長、教授有資格・Dr.ハンス・ギュンター・ヘネンケの同席のもとに、18 のプロジェクトに応募した郡と、連携プロジェクトのコーディネーターとしての「全国郡連絡協議会」に対して、決定通知を手渡した。

クレックナー大臣：“ボランティアの強化は、街と同じ生活関係の価値創造のために、効果的な支援プログラムである。なぜならば、農村地域の問題について、生き生きとしたそして多様な提案が決定的に重要である。私は行くのか？または残るのか？私は道を創っていくことに関わる。官僚主義を排し、そしてより多くの支援を。我々のプロジェクトでもって、国民が簡単にそして魅力的に行動することを支援する。”

訳注：ドイツのボランティア活動は、大きく 3 タイプに分類される。

- ① 自発的な社会参加 ② 無償の福祉ケア ③ 兵役拒否の代替奉仕

であるが、今回のプロジェクトは ① が対象である。

なお、③は兵役義務がなくなったことから、2011 年から連邦ボランティア役務制度が導入されている。

教授有資格・Dr.ハンス ギュンター：”我々はボランティアに過大な期待をするのではなく、ボランティアとともにより良く行動し、そしてその活動をさらに強化すべきである。市民ボランティアは、完全な地域の仕組みと社会的結束と、より良い相互性の基本的な礎石である。我々は大きな潜在力を持つプロジェクトを有し、現地での具体的な付加価値と確信を生み出す。そしてボランティアは、活力をもって重要な活動に際して支援してくれる。”

背景：

農村地域におけるボランティアは、大きな挑戦の前に立っている。後継者不足、政策上で増大する官僚主義的な要求、劣化する受入れ体制、今あるボランティア構造の中での継続的な参画、イニシアチブと団体の活動の困難なこと。そのため、連邦農業省は”連邦プログラム農村地域の発展”(BULE)の重点について、ボランティア活動の強化を図る。

選定された18の郡のプロジェクトの概要

選定された郡	州	プロジェクト構想/特徴
アールヴァイラー Ahrweiler	ラインラントー プファルツ州	・プロジェクト”続行”：経済と管理の専門的な分野からの成果多い構想が、ボランティアに委任される。それに従って利益を目指す。専門分野から非営利のそして私欲の無い専門に移行する(非営利の中の利益)。
ボーデン湖郡 Bodenseekreis	バーデンーヴェ ルテンベルグ州	・”若いボランティア”への集中 ・ボランティア構造と小さな村における組織形態のさらなる発展
ブルゲンラント 郡 Burgenlandkreis	ザクセンーアン ハルト州	・中部ドイツの区域/褐炭発電所の休止/本質をとらえた構造改革が、減少傾向の住民数と常に老いる住民問題の克服 ・ボランティア活動の強化が若い家族のための魅力向上をもたらし、帰郷ー移住を促進させる。
エムスランド郡 Emsland	ニーダーザクセ ン州	・”灯台”ボランティア活動は、非常に幅広く発展する。ボランティア奨励の継続的な発展、地域結束の考え方、リーダー地域の結びつき

エルツゲビルクス郡 Erzgebirgs	ザクセン州	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な法的基礎との関連に際しての連邦、州、郡とのシステムの欠如 ・多様な世代を包括した手がかり ・強まっている大衆迎合主義（ポピュリズム）の時代におけるボランティア参加でのソフト技術の強化 ・政治的な嫌悪感/除外、地域の要望を見出す
オイスキルヒェン郡 Euskirchen	ノルトラインーヴェストファーレン州	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術的な支援 ・3州（州の角）で推進している関心事 ・村のコーチ ワークショップ計画 ” 2025 ボランティア”
ゲッチングゲン郡 Göttingen	ニーダーザクセン州	<ul style="list-style-type: none"> ・共に提携する地域ハルツ（訳注・ドイツ中央部の山地）のオステロッド郡との合併後、社会福祉と介護戦略奨励との結びつき。 ・デジタル化、魅力的な交流と人間対話、地域の存在感
ヘクスター 郡 Höxter	ノルトラインーヴェストファーレン州	<ul style="list-style-type: none"> ・重点一コミュニケーション ・デジタル化（若い人々の目的グループ）
ルードヴィックルストーパルヒム郡 Ludwigslust-Parochim	メクレンブルグーフォアポーメルン州	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉上の場所、分散している手がかり（この州における人口密度の減少） ・参加のプロセス/地域の仕事場 村における地方自治体の管理の積極的な取り組み
オーバースプレーバルトーラウリッツイツ郡 Oberspreewald-Lausitz	ブランデンブルグ州	<ul style="list-style-type: none"> ・平均以上の人口変動に該当する褐炭地域/構造改革 ・そのために後継者の獲得、関係者のより強いネットワーク化 ・今あるボランティア活動の継続/しかし、必要性の分析
レーゲンスブルグ郡 Regenburg	バイエルン州	<ul style="list-style-type: none"> ・手引書の作成、団体の指導に際してその分野のネットワーク化 ・高価なプロフェッショナルなコーチングは不要 ・4年間の連盟学校からの体験知識

レンドスブルグ ーエッケルンフ ェルド郡 Rendsburg- Eckernförde	シュレースビッ クーホルシュタ イン州	<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加一大使 ・ボランティアと政策決定者との対話、デジタル化も。 ・郡地域におけるボランティアのための持続的、多次元な共同ネットワークの発展 ・ボランティア活動の集中的な組み入れ
ST.ヴェンデル 郡 ST.Wendel	ザールラント州	<ul style="list-style-type: none"> ・知識データバンク 悩み事ネットワーク ・目的グループ：特に高齢者のボランティア ・魅力的なデジタル手法が若者にも呼びかける
トリアザールブ ルグ郡 Trier-Saarburg	ラインラント プファルツ州	<ul style="list-style-type: none"> ・目的グループ ボランティアの町村長 ・村のボランティア活動強化のための実践的な支援
ウッケマルク 郡 Uckemark	ブランデンブル グ州	<ul style="list-style-type: none"> ・郡内におけるボランティアの可視化は活動を促進する。 ・つまり、関係者とその活動を描いたボランティアのマップ化
フォアポーメ ルン-グライス バルト郡 Vorpommern- Greifswald	メクレンブル グ-フォアポー メルン州	<ul style="list-style-type: none"> ・グライスバルト大学を含めた境界を越えた共同活動
ヴァルデック フランケンブル グ郡 Waldeck- Frankenberg	ヘッセン州	<ul style="list-style-type: none"> ・実験的な手掛かり/革新的な手法、知識市場、インターネットプラットフォーム、若い人々に焦点 ・これまでにないメンバー獲得に焦点を
ワイマール郡 Weimarer Land	チューリンゲン 州	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアコーディネーター（ネットワーク化異なる目的集団の組み入れ） ・ボランティアトレーナー（現在進行中のプログラムの拡大と連携、地域経済との結びつき強化） ・異なるボランティアのネットワークパートナーの専門的、そして構造上のネットワーク
ドイツの郡		<ul style="list-style-type: none"> ・連携計画のリーダー、パートナーの確保 ・コントロールと調整、コミュニケーション

2019・11・30 訳

青森中央学院大学

中川一徹